

伊藤修佐号 伊藤蘭畹

いとう・しゅうすけ いとう・らんえん

福山藩儒者(福山伊藤家3代)

経歴

生:享保12年(1727年)7月29日

没:天明8年(1788年)8月31日、享年62歳、定福寺に葬る

—	—	京に游学
—	—	江戸に游学
宝暦3年(1753年)	26歳	家学を継ぐ
宝暦4年(1754年)5月5日	27歳	儒者本役
—	—	弘道館の学術世話役(第2代)

生い立ちと学業、業績

生い立ち

名は懐祖(徳祖)、字は修佐、蘭畹と号した。

彰常先生と私諱する。

父は福山伊藤家初代伊藤重蔵(梅宇)で、第三子に生まれた。

第2代伊藤大佐(霞台)は兄である。

学業と業績

長じて京に学んだのち、江戸に行き、叔父・伊藤竹里の家に数年寓居した。

宝暦3年(1753年)第2代伊藤大佐(霞台)が没し、子がなかったなのでその家・家学を継ぐ。

宝暦4年(1754年)5月5日、儒者本役。

祖先の家学を伝えて教授すること多年に及んだ。

また弘道館の学術世話役(第2代)として、藩学の興隆に尽した。

天明8年(1788年)8月31日没、享年62歳。

定福寺に葬り、墓碑は伊藤東涯の子・伊藤東所が撰文したが、現在、墓は不明。

伊藤家の相続

儒家としての伊藤家の第4代は、長男の伊藤貞蔵(竹坡)が嗣いだ。

出典1:『伊藤善韶撰 蘭畹先生墓碑銘』

出典2:『福山藩の教育と沿革史 藩校から小学校まで』、135頁、阿部正弘公顕彰会刊、1999年8月20日

出典3:『郷賢録』、4頁、福田禄太郎著、福山城博物館友の会刊、平成12年10月1日

出典4:『福山の今昔』、147頁、濱本鶴賓著、立石岩三郎刊、大正6年4月26日

出典5:『福山学生会雑誌(第53号)』、附1、「伊藤梅宇先生履歴」、伊藤顧也寄、福山学生会雑誌事務所編刊、大正7年7月3日

2004年12月6日更新●2006年2月24日更新:本文・出典●2006年6月15日更新:タイトル●2008年2月12日更新:経歴・本文●2010年3月18日更新:経歴・本文・出典●2010年3月29日更新:本文・出典●